

慶雲興

花の大学生

現役住職三十一歳、大学生になって早四月、六分の一が終わりました。入学を決めた時には、大勢の方から応援の言葉をいただいた半面、遊び目的とも揶揄されましたが、賛否共に原動力となっています。最近では、「大学生活はどう？」と聞かれる事もしばしば。学ぶことの楽しさを素直に伝えると、羨ましがられたりもします。社会経験を積んでから改めて学ぼうとしても、仕事・家庭環境などの理由から、志半ばの方が多くいるのだと気づかされました。その点、この年で大学に通う事が出来る環境が、いかにありがたい事であるかを、しみじみ感じるところです。学ぶ上で最近心がけているのは、同じジャ

第8号
安龍山雲澤寺
〒409-2533
身延町清子 1565
☎:0556-62-0894
✉anryuzan.untakuji@gmail.com

公式HP



編集者：吉村光翔

ンルの本を何冊も見比べるという事です。最近では書店に行くと「誰でもわかる！」というキャッチフレーズの本をよく見かけます。また、ネットやYouTubeでは、さまざまな解説動画があげられており、誰でも、どんなことでも、簡単に情報が得られるようになりました。そこで、気を付けなくてはいけないのは、分かりやすさを重視するあまりに、誤った情報が横行しているという事です。特にネットの情報源は、専門家と名乗られば、それが正しい情報であると信じてしまいます。誰でも簡単に発信も受信も出来る時代。だからこそ、すべてを真に受けるのではなく自分の頭で整理し、正しい情報の根拠を調べる力が大切になってくるのだと思います。

さて、仏教の起源は二千五百年前のインド

に遡さかのぼります。歴史上で、何かを発明したり物を残したのではなく、言葉や生き方で最も人類に影響を与えた人物、それがお釈迦さまです。お釈迦さまの教えは、インドから各地へ伝わりました。日本へは中国、朝鮮半島を経由してやってきました。その間、計り知れない数の僧侶・信者・人々が学び、伝え、各地の風習と混ざり合い変化していきました。日蓮宗は日本でも歴史ある宗派ですが、仏教全体でいえばとても小さな宗派なのです。

おそらく、大学でどんなに学んでも、本を読んで知識を得ても、私が学んだこと全てを発信する事は出来ないでしょう。一割にも満たないかも知れません。では、学ぶことに意味はあるのかと問われれば、そうではないと思います。一割に満たないかも知れない情報の質と量を高めるには、学びを絶やさず分母を増やし続けるしかありません。かつて恩師に言われたことがあります。「面白い映画ってのは、十本見たらせいぜい二本ぐらいしかない。でも、面白い映画を知るにはたくさん観るしかないんだよ。」

名は体を表す

大学の講義の中で先生から、「自身の名前の由来を知っていますか？」と質問をされました。皆さんは、自分の名前について考えたことや、ご両親から聞いた事はあるでしょうか。「**名前は親から与えられた最初のプレゼント**」という言葉も耳にします。名はただの呼び名ではありません。きつと、こんな人に育つて欲しいという、名づけた人の思いが込められているはずです。そう考えてみると、当たり前である名前にも、ありがたみと愛着が湧くような気がします。「名は体を表す」と言うように、その人の姿・生き様を表すものが名であると言えるでしょう。

仏教の祖であるお釈迦さまは、釈迦族という小さな国の王子として生を受け、「ゴータマ・シツダッタ」と名づけられました。「**最上の雄牛・目的を達成した者**」という意味があるそうです。一族の王様であるお父様が、優れた跡取りとなるようにという思いを込め

て付けたと伝えられます。しかし、王様の願い叶わず、シツダッタ王子は王位を捨て真理を求め出家しました。そして悟りを開かれた後、正しく悟りを得たもの・覚者という意味の「ブツダ（仏陀）」と呼ばれるようになりました。ちなみに「お釈迦さま」という呼び名は、釈迦族にお生まれになった尊い方という愛称で、本名ではありません。

日蓮聖人も、ご自身の名前をととても大切にされた方です。日蓮聖人は生涯の中で二度、名前を変えられました。幼き頃の名は「**善日**」ぜんにち、十六歳で出家した時には「**是聖房蓮**」ぜしやうぼうれん、**長**」ちやうと名を改めました。そして、三十二

歳、法華経とお題目を弘める決意をされた際、「**是聖房蓮長**」から「**日蓮**」と名を改められたのです。日蓮聖人の「日」は「太陽」、「蓮」は「蓮華」を表し、どちらも法華経の経文が由来となっています。

日蓮聖人は、ご自身の名前の意味について「法華経という教えは、**譬えてみれば太陽と**

蓮華である。物を見るには明かりが欠かせないが、太陽の光は最も明るく優れている。蓮華は泥沼に生息しているけれども、その泥に汚されることなく清らかさを保っている。清らかさ、気高さにおいて蓮華に勝るものはない。この二つの意味をこめて妙法蓮華と言うのである。日蓮の名も太陽と蓮華が由来である。この名は私の人生、信仰そのものである。」

とお手紙で書かれ、ご自身の強い自覚と教えを弘めるという決意が感じられます。

与えられた使命、あるべき姿、自身の全ての象徴となるのが名前といえるでしょう。誇りある大切な自分の名。今一度思い起こし、これまでの半生と、これからの生き方を考えてはいかがでしょうか？

